

令和8年度 学力向上アクションプラン

学校番号 122

江戸川区立第四葛西小学校

「全国学力・学習状況調査」平均正答率東京都との差				「江戸川区学力調査」平均正答率全国との差								
学年	第6学年			学年	第3学年		第4学年		第5学年		第6学年	
年度	国語	算数	合計	年度	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数
令和12年度の目標				令和12年度の目標								
令和11年度の目標				令和11年度の目標								
令和10年度の目標				令和10年度の目標								
令和9年度の目標				令和9年度の目標								
令和8年度の目標	+7.5	+1.0	+8.5	令和8年度の目標	+8.0	+6.0	+6.0	+6.5	+3.5	+2.5	+2.0	+2.0
令和7年度の結果	+7.4	-0.7	+6.7	令和7年度の結果	+7.4	+5.6	+5.2	+5.9	+2.7	+1.9	0	+1.2
令和6年度の結果	-1.1	-9	-10.1	令和6年度の結果	+4.3	+0.7	+0.8	+1.9	-1.5	+0.9	-1.0	-3.3
令和5年度の結果	-4.5	-2.4	-6.9	令和5年度の結果								

年度	令和7年度		令和8年度			
内容	成果と課題		目標		目標達成に向けた取組	
学校全体	【成果】 ○教科担任制を柱とした教師の専門性を生かした指導の充実を図り、学校評価アンケートにおいて「基礎・基本の定着を図る教育活動の実施」の肯定的意見の割合を80%以上とすることができた。 【課題】 ○全国学力調査の結果から、国語においては、情報を扱う力に課題が見られた。算数においては、データを活用する力に課題が見られた。		○全学年が四小学び方スタンダードに基づいた授業を実践する。 ○「基礎・基本の定着を図る教育活動の実施」、「学力向上に向けた指導法の工夫」、「家庭学習の習慣化」の肯定的意見の割合を80%以上とする。 ○全学年で平均正答率全国との差をプラスにする。		○全学年で、毎週水曜日に朝学習の時間を設定する。 ○第4学年から、毎週金曜日によむYOMUワークシートに取り組む時間を設定する。 ○算数カルテやドリルパークを活用し、児童の課題に応じた問題に取り組む時間を設定する。 ○算数の学習において、習熟の時間を設定する。 ○低学年から、学習習慣を確立するためにねらいを明確にした家庭学習と家庭の協力を促す。	
第1学年	【成果】 ○ミライシード等のICT端末の基本操作に慣れ、ドリル学習などを通じて楽しみながら基礎的・基本的な知識(ひらがな、1桁のたし算・ひき算など)を身につけることができた。 【課題】 ○国語において、単語や短い文の読み書きはできるものの、文脈から情報を正しく読み取る力に個人差が見られる。また、算数の文章題において、「たし算か、ひき算か」を判断して正しく立式する際につまずく児童がおり、情報を整理して考える力に課題がある。		○四小学び方スタンダードに即した授業を実施する。 ○家庭学習の習慣化に取り組み、読み・書き・計算等繰り返し学習が必要なものをしっかり定着させる。 ○学びの楽しさを味わえるような学習体験を豊かにし、主体的に学ぶ児童の育成を図る。		○朝学習・朝読書の時間を活用し、落ち着いた環境で集中して学ぶ姿勢を習慣化する。 ○生活科を中心に、体験や経験を通して学ぶ学習を豊かにし、学びの楽しさや充実感が味わえるような学習を工夫する。 ○学習のめあて掲示や振り返りを毎時間行い、学びの価値付けをしっかりと行う。 ○計画的な家庭学習を行い基礎学力の定着を図る。	
第2学年	【成果】 ○算数では、単元のもとに習熟の時間を十分に確保したことで、計算などの技能面の力が高まった。九九など積み重ねが必要な内容については、取り組み方を工夫したことで、9割程の児童が定着できた。国語では単元ごとに意味調べをしたり、漢字を繰り返し取り組める体制を作り行ったことで、得点率が高まった。 【課題】 学習を自分事として捉え、粘り強く集中して取り組む態度が低かった。		○四小学び方スタンダードに即した授業を実施する。 ○家庭学習の習慣化やICT機器の活用に取り組み、自己の課題克服や目標達成を目指す。 ○算数において80%の児童が、80%の得点率となるようにする。		○毎週水曜日の朝学習で計算問題を解く時間を設定し、繰り返し取り組めるようにする。 ○算数ドリルパークを活用し、児童の課題に応じた問題に取り組む時間を設定する。 ○算数の学習において、習熟の時間を学習のまとまりごとに必ず設定する。 ○自身で課題を把握できるような導入の工夫や、学習の振り返りを内容ごとに継続的に実施する。	
第3学年	【成果】 ○算数では朝学習の時間を活用して計算問題に取り組んだ。年度当初の取組と比較をすると、問題の解答率の向上や、正答率の高まりがみられた。国語の漢字の学習では、繰り返しの反復練習により書き取りの点数の向上を図ることができた。 【課題】 ○漢字の書き取り、計算の処理について、全体で見ると向上が見られるが下位層の上場は限定的であった。		○四小学び方スタンダードに即した授業を実施する。 ○家庭学習の自主化・習慣化に取り組み、自己の課題克服や目標達成を目指す。 ○今年度の区学力調査結果を昨年度結果よりプラスにする。		○国語、算数の授業では、読み書きや計算など基礎基本を学年でそろえて展開する。 ○家庭と連携した家庭学習を行うため、保護者会や個人面談で協力をお願いする。毎日確実に学年×10+10分の家庭学習を出す。算数少人数や学年アシスタントと連携して個別指導を充実させる。 ○算数の学習において、習熟の時間を設定する。	
第4学年	【成果】 ○国語では、漢字や読み書きなど基礎基本を学年で揃えて授業を展開した。江戸川区学力調査の結果から、児童は、文学的文章の正答率が高かった。算数では、江戸川区定着度調査と学習カルテを活用し、繰り返し個に応じた基礎・基本の定着を図った。 【課題】 ○江戸川区学力調査の結果から、国語では、「読解」、算数では、応用問題の得点率が低かった。		○学び方スタンダードに即した授業を実施する。 ○家庭学習の自主化・習慣化に取り組み、自己の課題克服や目標達成を目指す。 ○肯定的な回答8割を達成する。 ○今年度の区学力調査結果を昨年度結果よりプラスにする。		○国語、算数の授業では、読み書きや計算など基礎基本を学年でそろえて展開する。 ○家庭と連携した家庭学習を行うため、保護者会や個人面談で協力をお願いする。 ○算数の学習において、習熟の時間を設定する。	
第5学年	【成果】 ○国語では、よむYOMUワークシートを活用し、読解力向上に努めた。江戸川区学力向上の結果を見ると、読み取り問題の正答率が高かった。算数では、算数の学習の中で習熟の時間を十分に確保し、基礎基本の定着を図り、江戸川区学力調査の結果から、定着率の向上が見られた。 【課題】 ○国語では漢字の識字率、算数では応用問題の得点率が低かった。		○算数カルテやICTを効果的に活用し、「基礎・基本の定着を図る教育活動」および「家庭学習の習慣化」に関するアンケートの肯定的意見80%以上を達成する。 ○情報を論理的に処理する力を育成し、第5学年の平均正答率を国語・算数ともに全国との差でプラスにする。		○ミライシード(ドリルパーク)や算数カルテを活用し、児童一人ひとりのつまずきに応じた問題に取り組む習熟の時間を設定し、基礎・基本を徹底する。 ○毎週の朝学習の時間も活用しながら学習習慣を維持しつつ、自ら計画を立てて取り組む「自主学習ノート」等の取り組みを推進し、児童同士で成果を共有して意欲を高める。	
第6学年	【成果】 ○国語では、全国学力調査や昨年度の江戸川区学力定着度調査の結果を受け、定着度が低い内容について重点的に指導した。その結果、どの学力調査においても東京都平均よりも高い数値を得ることができた。 【課題】 ○国語では漢字の記述式の問題や言葉の理解、算数では分数の計算や図形についての得点率が低かった。		○基礎的・基本的な学習内容の定着を図り、「基礎・基本の定着を図る教育活動」および「家庭学習の習慣化」に関するアンケートの肯定的意見80%以上を達成する。 ○昨年度の定着度調査の結果を受け、定着度が低かった項目について、得点率を向上させる。		○学び方スタンダードの活用や日々の朝学習の時間、算数の時間での習熟の時間の設定等を通して、継続して学力の向上を図る。 ○ドリルパークやテストパークを活用し、課題意識のある学習内容に取り組む時間を設定する。 ○課題意識がもてる家庭学習を設定する。 ○めあてと振り返りの時間の設定をし、学習の積み重ねができるようにする。	